

「つながる防災プロジェクト」FAQ 2024.06 版

- ・これまでの「つながる防災プロジェクト」説明会でいただいた質問や、その後事務局にいただいた質問をもとに作成しています。可能であれば説明会にて、最新の情報をご確認ください。
- ・「つながる防災プロジェクト」募集要項に沿って作成しています。

■助成の対象となる取り組み

Q. イベント実施について、大きいイベント 1 回の実施と小さいイベント複数回、どちらでもよいのか。

A. イベントは「地域住民に開かれているか」がポイントです。地域や対象に合わせて、適切と思われる規模や回数で開催してください。

Q. イベント会場は児童館のみか。別の場所でも実施できるか。

A. 実施場所は児童館に限りません。避難訓練等で地域の学校が会場になったり、他の施設と一緒に活動を行ったり、地域全体を使った活動をしたりなど、さまざまな実施方法が可能です。要配慮者の方や地域住民の方の参加しやすさを考慮して、実施会場をご検討ください。また、他会場を利用する場合の会場費についても助成金を活用することができます。

Q. 児童館がない地域にアウトリーチ型の活動をしている。アウトリーチ先で事業を行うことは可能か。

A. 可能です。

Q. 児童館で現在行っている事業をアレンジして応募することは可能か。

A. 可能です。これまでも「児童館まつり」を要配慮者と一緒に防災テーマで行ったり、避難訓練をバージョンアップした企画にするなどの事例があります。

Q. 今年度の事業スケジュールは決まっている。プログラム実施は 4 月以降になってもよいのか。

A. 10 月から 3 月の間に関係者との打ち合わせ等、事業の準備をすすめ、具体的なプログラムを 4 月以降に行う等、柔軟なスケジュールで実施できます。

Q. 実施したいプログラムが 11 月にある。それだけでも問題はないか。

A. プログラム後の振り返りや、振り返りを活かした次年度以降のプログラムの準備、BCP 計画への反映など、今後に活かせるような取り組みも含めた計画としてください。

Q. 子育て支援センターを併設しているので、乳幼児とその保護者を主な対象としたい。

A. 特に問題はありません。地域の方や他の世代の方も巻き込めるような企画も含んでいただけると、なお望ましいです。

Q. 放課後児童クラブを併設しているので、児童クラブで取り組みたい。

A. 本プロジェクトは、地域住民が参加しやすいしくみをもつ防災・減災の取り組みを通じた、災害時の要配慮者への理解や配慮が促進されることをねらいとしています。児童クラブのメンバーが中心になりプログラムの企画を進めることは可能ですが、児童クラブのみで完結する取り組みであれば、

本プロジェクトの対象ではありません。

■助成内容

Q. 申請段階で10万円の予算とした。途中で規模が拡大した場合は追加申請できるのか。

- A. 追加申請はできません。本助成は応募いただいた計画や予算に対して審査され、採否を決定します。計画や予算に大幅な変更が生じた時には、事務局までご連絡いただき、助成事業として実施するかどうかを双方で確認します。

Q. 助成金が残った場合はどうなるのか。

- A. 原則として返金になります。

Q. 助成金の支払い方法と時期を教えてください。

- A. 事業開始時の一括払いを予定していますが、児童館の会計方式に合わせた対応*が可能です。
*事前（一括／半期ごと）、精算後支払い（一括／半期ごと）

Q. 助成金を運営会社の口座に振り込んで欲しい／助成金を館長名義の口座に振り込んで欲しい。

- A. 助成金の振り込みは、非営利団体（法人格の有無は問いません）名義の口座に限ります。個人名義の口座、株式会社名義の口座には振り込みができません。

Q. 非常食を実際に食べる体験をしたい。非常食の購入費用は助成対象になるのか。

- A. 体験のために使うのであれば対象になります（備蓄は対象外）。

Q. 防災リュックの見本を展示したい。防災リュックや中身の購入費用は助成対象になるのか。

- A. 事業期間に展示をしたり、学習会の教材として使う場合は対象になります。

Q. 防災体験ができる施設へのバスツアーを実施したい。バス代を申請できるのか。

- A. 可能です。なお参加者募集に当たっては要配慮者、体験機会が少ない層など、本テーマにあわせた参加者に開かれるような配慮をお願いします。

Q. 県外から研修の講師を呼びたい。旅費は対象になるか。

- A. 対象になります。

Q. 研修の講師を呼びたいが、誰に頼んでよいか分からない。

- A. 講師の候補がない場合、事務局から紹介することは可能です。講師謝金については予算計上してください。

Q. 研修講師への予算はいくらくらいが妥当か。

- A. 誰に講師を依頼するか、どのような内容で依頼するか等により異なりますので個別にお問い合わせください。児童館で謝金等の基準があれば、基準に沿った金額で予算化していただいても結構です。

Q. 事業サポートとは具体的に何か。

A. 採択された企画に対して、防災・減災活動にかかる専門的見地からの助言をしたり、地域内連携のコーディネーター役を紹介したりして、応募された取り組みがより発展するようにサポートを行うものです。児童館と事務局双方の協議により必要と判断された場合に、事務局で事業サポートを行う方を調整いたします。専門家やコーディネーターへの謝金は事務局で計上していますので、児童館での予算化は不要です。

Q. 自分たちが希望する専門家に事業サポートをしてほしいが、可能か。

A. 事業サポートは、児童館と事務局双方の協議により必要と判断された場合に、事務局で事業サポートを行う方を調整するものです。すでに事業のサポートを予定したい方がいる場合は、予算化して応募してください。

Q. 「防災ジャパンダプロジェクト」のワークショップはどのような内容になるのか。

A. 「防災ジャパンダプロジェクト」の防災ワークショップを実施するときに、資材やパネルを貸し出してもらえたり、ワークショップの進行を損保ジャパンの社員の方にさせていただくことができます。採択後に打ち合わせをして、詳細を確認していきます。

■採択後のスケジュールなど

Q. 児童館で事業の告知や報告等を行う時、チラシなどに何を記載すればよいのか。

A. プロジェクト名（ロゴ）を明示していただきます。採択された児童館には、広報についてのガイドラインを配布しますので、ご確認ください。

Q. 実施事業をウェブサイトにもどのように掲載するのか。PC操作は苦手なのでハードルが高そう。

A. 基本的なながれとしては、フォーマットに沿って掲載内容を入力し、写真データを添付します。PC操作の得手不得手、PC環境の有無にあわせて事務局がサポートしますのでご安心ください。
(WEB : <https://tsunagaru-bousai-pj.net/>)

Q. 全体イベントはどのように開催されるのか。

A. オンラインもしくはハイブリッド（対面・オンライン併用）の予定です。実施児童館同士の情報交換をはじめ、取り組みの参考になるような講座や研修要素も含めて実施しています。

Q. 報告会では発表をするのか。発表資料を作らないといけないのか。

A. パワーポイント（共通のフォーマットに入力いただく）を使って発表していただいております。基本的な分量はシート3～4枚です。